

令和5年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力

「スピタク医療センター医療機材整備計画」

供与式の実施

令和6年3月11日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「スピタク医療センター医療機材整備計画」の供与式が、ロリ州に所在するスピタク医療センターにおいて行われました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、アラム・ガザリャン・ロリ州知事、アルメン・ガスパリャン・アルメニア保健省次官、ヴァルドゥヒ・シサキャン・スピタク医療センター長等が出席した他、行政職員や同医療センターの職員らが参加しました。

本案件は、スピタク医療センターに、消化管内視鏡検査用機器一式を整備することで、ロリ州及びその他近隣州における医療水準を向上させることを目的に実施されました。本案件の実施により、年間約2,500人の患者が直接的に裨益します。



青木大使によるスピーチ



(左から)シサキャン氏、青木大使、ガザリャン・ロリ州知事、ガスパリャン保健省次官



医療センターの見学



本案件で整備された医療機材